

2020 東京オリンピック・パラリンピック
南陽市ホストタウン推進基本方針



平成 30 年 5 月
南陽市

1 策定の趣旨

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「大会」といいます。）は、スポーツの祭典として、スポーツを起点に観光や文化など多様な分野で新たな発展や質的向上をもたらすことが期待されています。

本市では、大会の開催を異文化交流、国際的視野を持つ人づくりを推進する絶好の契機として捉え、国際交流を通じて地域活性化を促進し、本市の持続的な発展へとつなげるため、バルバドス国との交流を通じ、地域スポーツの振興、観光客の増加などのオリンピックレガシー ※1 の創出を図ります。

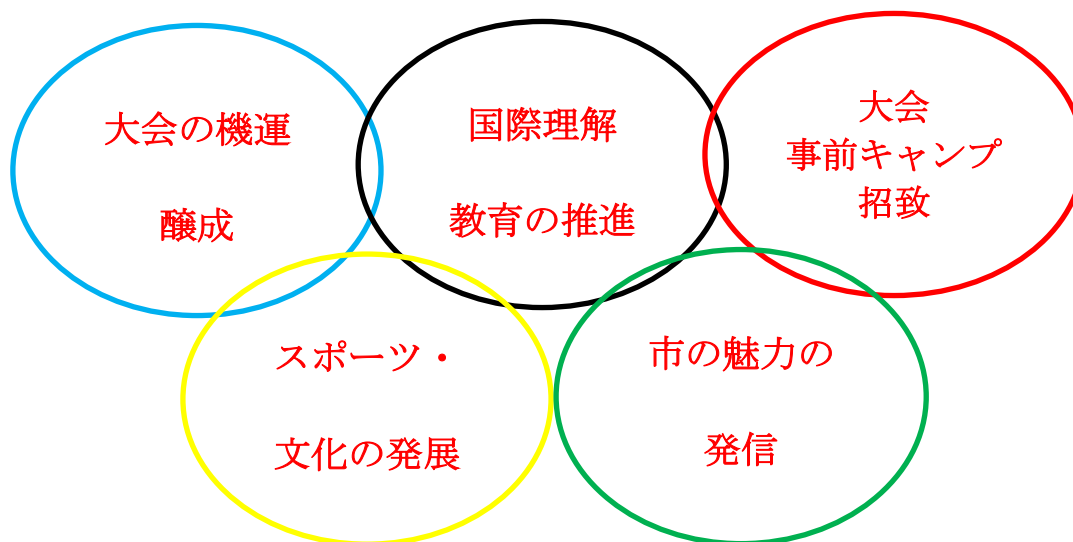
この基本方針は、大会の開催に向けたホストタウン構想 ※2 の推進に向け、本市における地域活性化を図る取組の方向性を示しています。

2 取組の方向性

（1）取組の基本的な考え方

大会の開催を契機に、未来を担う子どもたちに夢と希望を与え、地域活性化と賑わいを創出し、本市が持続的に発展することを目指し、市民との協働により全市を挙げて、ホストタウン構想の成功に向けた取組を推進します。

（2）5つの取組項目



※1 オリンピックレガシー：オリンピック等の開催に伴って生み出される後世に残すべき有形又は無形の遺産のこと。

※2 ホストタウン構想：オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、スポーツ立国・グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等の観点から、希望する自治体を「ホストタウン」として登録し、当該自治体と参加国・参加地域との相互交流を図る取組のこと。

I. 大会の機運醸成

大会の開催に向けた機運を高める取組を実施するとともに、市民協働に向けた取組を次のとおり実施します。

(1) 取組

- ① ホストタウン構想の推進
- ② 機運を高めるためにバルバドスとのスポーツ交流、文化交流等の実施
- ③ オリンピアンによるオリンピック教育 ※3 の推進
- ④ 市内の関係団体及び市民との協働による取組の実施
- ⑤ 山形県及び近隣自治体と連携した取組の実施

(2) 取組によるオリンピックレガシー

- ① スポーツへの参加意識向上
- ② オリンピック教育※3 の充実
- ③ 市民協働意識の醸成
- ④ 自治体連携の強化

II. 国際理解教育の推進

南陽市第5次総合計画の「教育のまちづくり」の「国際的な視野を持つたくましい人づくり」の「多文化共生の視点に立った国際理解教育の推進」のため外国の文化（異文化）に触れ、国際的な視野を持つ人づくりを目的に、次の取組を実施します。

(1) 取組

- ① 市内小中高等学校訪問によるバルバドスの文化等の紹介
- ② バルバドスとの相互交流の推進

(2) 取組によるオリンピックレガシー

- ① 国際的視野を持った人材の輩出
- ② 市民協働意識の醸成
- ③ オリンピックへの参加意識

※3 オリンピック教育：スポーツやオリンピックを教材として、国際的な視野を養い、世界の平和に向けて活躍できる人材を育成する教育的活動のこと。①オリンピック自体とその歴史 ②オリンピックに関連した世界各国・地域の文化や社会問題 ③オリンピックの精神やスポーツの価値観

Ⅲ. 大会事前キャンプ ※4 の招致

本市は、ホストタウンに登録された、バルバドスオリンピック協会と基本合意書を締結したことから、バルバドスの大会参加選手等と市民との交流を目的に、次の取組を実施します。

(1) 取組

- ① 市内の関係団体との連携
- ② バルバドス選手と合同練習や練習見学会を開催
- ③ バルバドス選手や同国関係者から文化等の紹介と交流

(2) 取組によるオリンピックレガシー

- ① オリンピアンに触れる機会創出
- ② 国際交流の機会の拡充
- ③ 本市の認知度の向上

Ⅳ. スポーツ・文化の発展

大会の開催に向けて、スポーツに対する興味関心の向上、健康意識の醸成、本市の文化の発展継承を目的に、次の取組を実施します。

(1) 取組

- ① オリンピアンによるスポーツ教室・講演の開催
- ② オリンピアンによる市内イベント等への参加
- ③ バルバドスの郷土料理や文化に触れる機会の創出
- ④ 市内の関係団体及び市民との協働による取組の実施

(2) 取組によるオリンピックレガシー

- ① 地域に根ざしたスポーツの発展
- ② スポーツや文化を通したシビックプライド ※5 の醸成
- ③ 異文化交流による国際認識※6 の深化

※4 事前キャンプ：オリンピック等に参加する選手及びチームが、大会前又は期間中に練習、調整等を行う場所。

※5 シビックプライド：市民が自分の住んでいる、働いている都市に対して「誇り」や「愛着」を持って、自らこの都市を形成している1人であるという認識を持つこと。

※6 国際認識：自己の所属する国家と他の国家の違いを理解しようとすること、またはその理解。

V. 市の魅力の発信

大会のキャンプ受入れ期間中は、多くの方々が交流に訪れることから、本市の魅力を発信し、観光振興につなげるほか、バルバドスとの交流を図ることを目的に、次の取組を実施します。

(1) 取組

- ① 南陽市の魅力の発信
- ② 市内の関係団体及び市民との協働による取組の実施

(2) 取組によるオリンピックレガシー

- ① 国内外の観光客の増加
- ② 地域経済の活性化

3 推進体制

(1) 推進組織

- ① ホストタウン推進実行委員会

大会の開催に伴う本市における関連事業を推進するため、推進実行委員会を設置します。

4 スケジュール

大会が終了する2020年度までの交流計画の概要を次頁のとおり示します。

大会の開催後についても可能な限り関連事業を継続し、オリンピックレガシーを継承します。

南陽市交流計画の概要 (2018.05.案)

団体名	山形県 南陽市
相手国・地域	バルバドス

2017
(大会開催前)

2018

2019

2020
(大会中)

2020～
(大会直後～)



つなげ14, 212キロ ～人と人、地域と地域を結ぶバルバドス～ スポーツ文化交流事業

2017
7/7 第4次ホストタウン(HT)登録
10/2～3 駐バ日本大使来市
11/3～12 バ訪問(基本合意書締結)
12/12 在バ日本大使館天皇誕生日レセプション時市PR(ブース)

2018
5/～12 HT推進員学校訪問
7/～ バ料理教室等
12/ BOA来市(事前キャンプ調印)
12/ 在バ日本大使館天皇誕生日レセプション時市PR(ブース)
未定 バ関係者等受入

2019
5/～ HT推進員学校訪問
5/～ バ料理教室等
12/ 在バ日本大使館天皇誕生日レセプション時市PR(ブース)
未定 バ関係者等受入
未定 市民訪問団派遣

オリンピック選手の応援・市民交流
事前キャンプ歓迎レセプション
大会観戦ツアー
事後交流相互確認



ホストタウンアクション

スポーツ交流

トップアスリートによるスポーツ教室

事前合宿の準備
○バルバドスの競技連盟との交流
○市主催スポーツ大会へ招待



事前合宿時応援・交流事業
(小中高生応援交流)

文化交流事業

バルバドスに関する文化の理解促進
○バルバドスの文化、風習の学習
○在バルバドス日本国大使館館員等を招き、同国の文化・歴史を紹介する市民向けイベントの開催
○小中高への訪問交流
○同国の食文化の紹介
○南陽市の食文化、特産品の紹介(同国訪問してのイベント等開催)



南陽市の文化の理解促進
○地元の食(ラーメンやワイン等)の体験ツアー等の開催
○市主催スポーツ大会へ招待



バルバドスとの交流事業
○両国生徒間、民間等のスポーツ文化等交流



経済交流

バルバドスとの経済交流
○南陽市の特産品等のPR



推進体制 庁内の連携による推進 → 専任配置による事業充実 → 各種団体連携による拡充発展 → 多様な交流主体の形成

基本合意書

仮訳

東京2020オリンピックに向けて、バルバドスオリンピック協会と南陽市は、下記の事項について、合意する。

- ・国際大会時に、南陽市を事前キャンプ地として、検討していくこと。
- ・東京2020オリンピック時、南陽市を事前キャンプ地として、検討していくこと。
- ・事前キャンプ準備のために必要な関係者の相互訪問、交流の受け入れをおこなうこと。
- ・南陽市からは、最大限のインセンティブの提供をおこなうこと。

これらについて、相互に敬意を払い、今後、窓口を開き、引き続き相互に促進が図られるよう、具体的な協議を重ね、その実現に向けて最大限の努力をしていく。

2017年11月 8日

バルバドス
オリンピック協会長
サンドラ オズボーン

日本国
山形県南陽市長
白岩 孝夫

(signature)

(signature)